

経営体の概要

- 所在地：鹿児島県鹿児島市
- 経営体名：有限会社 A
- 経営概要：酪農(経産牛120頭), 繁殖牛(53頭)
- 従業員数：3名 (令和6年4月現在)

導入技術

- 搾乳ロボット (デラバル(株)製) 2台
 - 1台で60頭の搾乳が可能
 - 個体毎に搾乳量, 生乳成分を把握し, 給餌, 成分分析を実施
- 自動飼料調整機・給餌機, 餌寄せロボット, 自動糞尿搬出機, 暑熱対策ファン等も併せて導入



搾乳ロボット



自動給餌機

導入経緯

- 2人で1日8時間かかる搾乳労働時間を削減したかった。将来の労働力確保に不安があった。
- 鹿児島大学やメーカー, 県畜試等をコンソーシアムのメンバーとする革新的技術・緊急展開事業に応募し, 平成26年度に搾乳ロボットを導入。

取組の特徴・効果

- 個体毎の搾乳量等の分析や, 乳牛を自由に行動させるストレス低減対策の結果, 搾乳回数が増えて乳量が増加。生乳販売額では1000万円/年増。
- 搾乳労働時間 延べ16時間/日→2時間/日削減できた労働時間を人工授精業務や飼養管理業務に投入。人工授精業務により和牛子牛の販売額が800万円増加。
- ロボット導入により経費は増加(500万円/年) (減価償却費を除く)
- 今後の経営展開
 - 搾乳牛頭数(120頭)を維持しつつ, 繁殖牛部門を60頭に拡大
 - 搾乳ロボットを導入した他農家との連携
- スマート機器の導入で体と心のゆとりを実感。